

Photography by Takeshi Mihashi



環境報告書2022

(2023年06月01日発行)

ニューデルタ工業株式会社

経営の理念・行動の指針

トップメッセージ

情報開示と持続可能な発展

ステークホルダーとの関わり

マネジメントシステム

お客様との関わり

調達先との関わり

従業員との関わり

社会貢献活動

環境保全活動

- ・EMSの取組み
- ・有害物質
- ・遵法性の評価
- ・EMS監査
- ・内・外のコミュニケーション
- ・主な環境負荷
- ・SDGs活動

ヤンマーグループの環境ビジョンにおける当社の役割と活動

環境管理責任者より

環境報告書のご意見

本報告書について

報告対象年度

2022年度(2022年3月21日～2023年3月20日)

本レポートは環境省 環境報告ガイドライン(2018年版)を参考にしております。



経営の理念

私達は、より高い理想を求め

より広い視野に立ち

より深い技術を探求して

社会に役立つ商品の創造を通して

豊かな文化とくらしの向上を追求します。

Management Ideals

We pursue the affluent culture and the betterment of the way
we live through the creation of useful products for society
based on broad management perspectives,
rich technologies and ever higher ideals.

行動の指針

私達は、つねに新たなる変革(Change)を求め

強い個性と体力・智力を持った会社に育て

一人ひとりが自らの仕事に厳しく、努力を惜しまず

信頼と感謝のもと、『和』の精神をもって

全員が目標に挑戦(Challenge)することを誓います。

Guidelines

We seek to be a corporation with its own distinctive
characters, strength and wisdom, always seeking change,
we are strict with ourselves and spare no efforts to achieve
our goals. Each member challenges to attain our common
goals in a spirit of mutual trust, thankfulness and harmony.

日頃から弊社環境マネジメントシステムにご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。2022年度の社会環境はコロナ禍に加え、政治的背景による世界情勢の不安定化も重なり、安心安全がおびやかされ一部の国では食糧供給が不安定になりました。経済においても資材類高騰、物流混乱、モノ不足など経済活動へ大きく影響しました。この流れは私たちの生活にも変化をもたらし、自粛の継続や物価高など直接的な影響を受けました。



このような中、弊社事業活動においては生産活動の影響を最小限に抑える手段を講じ、事業活動を継続することができました。また、法令遵守や目的目標の取り組みなど環境面での推進を継続し、外部審査では環境マネジメントシステムの有効性を認めております。

一方、社会的に加速する脱炭素社会の流れにはまだまだ対応できておりません。SDGsの取り組みも地域や企業間で広がってきています。未来に目を向けた時、環境問題を避けては通れません。事業継続はもちろんのこと、環境貢献も必須となり企業価値を高める重要な要素になっています。私たちは「地球と人にやさしい企業」という環境理念の元、事業活動を通してお客様に貢献し、社会課題に向き合い、法令遵守及び私たちにできる環境貢献を進めてまいります。

引き続き皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ニューデルタ工業株式会社
代表取締役社長

高田 大輔

情報開示と持続可能な発展

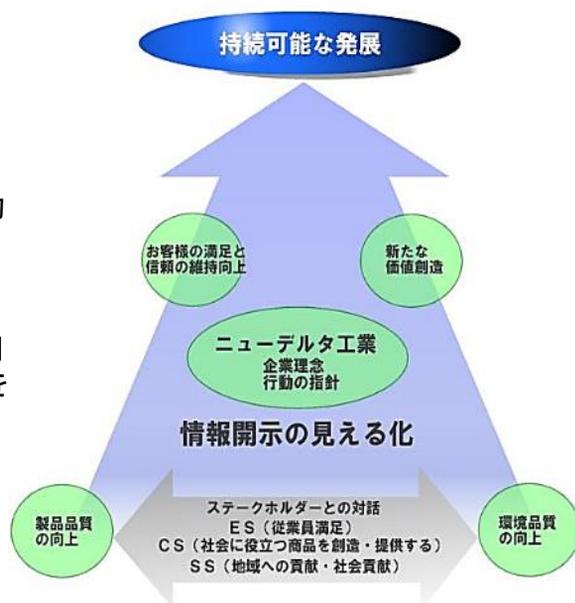
私たちは、ニューデルタ工業(株)の『経営の理念』及び『行動の指針』にもとづき企業活動を推進します。

私たちの行動の変革は、先進・独自の技術により社会に役立つ商品の創造・提供を通じて豊かな文化とくらしの向上に役立てることで、社会的満足が向上します。

その結果として生活の向上と将来にわたる繁栄が約束されます。

大きく変革を求めるプロセスの中で、社会と共に成長していくために、明確な目標を定め従業員一人ひとりが企業活動の中で、『変革と挑戦』をして行動することが最も重要な事と考えています。

私たちは、その企業活動を「情報開示と見える化」という言葉で実現し、各ステークホルダーとの対話を大切に、持続可能な発展を続けます。



ステークホルダーとの関わり

企業は、様々なステークホルダーと関わりながら活動を行っています。企業価値を高めるために企業が自ら抱える課題を中期経営戦略の中で策定し、社会との調和・ステークホルダーとのコミュニケーション・情報開示が最重要課題と位置づけ推進をしていきます。

企業が社会的責任を果たすには、適正な労働慣行や人権を尊重するといった「社会的側面」と経営の健全化と効率性を追求した「経済的側面」、地球温暖化防止や、循環型社会づくりへの貢献など、地球環境保全活動を推進する「環境的側面」について、責任を果たす事が重要な企業責任と考えております。

従業員： 当社の企業価値を高めるための活動の中で従業員は中心的な役割を担うステークホルダーです。行動の指針及び従業員満足の基本とした対話で企業活動を推進します。

お客様： お客様のご意見・ご要望を製品やサービス、そして企業活動へと反映することはメーカーとして最重要課題です。製品・サービスの創造を通じてより価値ある社会の形成に貢献していきます。

株主： 企業価値を正しくご理解していただく事を常に意識した情報開示に努め、経営の見える化、ホームページによる企業活動を開示します。

国際社会： 企業活動に於ける地域共生と環境保全を重要課題

地域社会： と考え、継続的な情報開示をおこない、地域社会とのコミュニケーションを推進していきます。

お取引先： 調達先は当社が安全で環境に配慮した製品を継続的に提供するための重要なパートナーです。資源保護、環境保全、法令遵守に則り調達先の皆様と相互理解のためにコミュニケーションを図り、公平な調達活動を行っています。



マネジメントシステム

お客様にとって安全・安心で魅力ある商品サービスの創造を通じて、高い顧客満足の実現と信頼の獲得を目指すと共に社会・環境との調和・共存に積極的に取り組み顧客満足を推進します。

品質方針

経営理念の精神を受け

『私達はお客様に信頼され喜ばれ社会に役立つ商品を創造し提供します』

をスローガンに、社会の期待する製品品質及び法的、社会的要求事項に配慮した品質マネジメントシステムにもとづき、顧客満足の向上を目指し事業活動を推進します。

品質方針について

品質方針を達成するために、私達は基本的な推進事項として次の3つの目標を掲げます。

- ① 社会の期待する品質を満足する商品を提供する。
- ② 自工程保証を基盤とした、品質マネジメントシステムを確立し実行する。
- ③ 部門間の連携を強化し、品質問題の予知とその未然防止を図る。

品質方針は、年度方針として全社に展開し、それぞれ具体的推進事項及び目標を定めこれを達成するための活動を実施します。

品質マネジメントシステムを確立し実行し、維持、継続していくために組織で働く又は組織のために働く全ての人に周知徹底と品質意識の高揚をはかります。



環境方針

私達は、我社の経営理念「社会に役立つ商品の創造を通して豊かな文化と暮らしの向上を追及する」にもとづき地球環境保全が人類社会の最重要課題のひとつであることを認識し、事業活動のあらゆる面で環境との調和に配慮して行動し環境保全に寄与することに努めます。

環境理念の精神を受け

『私達は地球と人にやさしい企業をめざします』

をスローガンに私達の事業活動、製品、サービスがもたらす環境側面に配慮した環境マネジメントシステムにもとづき、技術的、経済的に可能な範囲において環境保全活動を積極的に推進します。

環境保全活動の指針

企業の全ての活動において、環境との調和に配慮して行動するために環境マネジメントシステムを確立し、その継続的な改善と環境汚染の予防に努めます。環境にかかわる法規制、条例、協定等を遵守し自主的な管理基準を設定してその達成を目指します。

環境方針に沿った目的、目標を明確に定め、PDCAをまわして確実なレベルアップをはかります。

- ① 資源、エネルギーの有効活用による省資源、省エネルギー、大気汚染防止の推進をする。
- ② 廃棄物の減量化と資源のリサイクル化を推進する。
- ③ 使用する水資源の有効活用と削減に努め工場廃水の水質維持管理をする。
- ④ 省資源、省エネルギーなど環境に配慮した製品の開発を推進する。

環境マネジメントシステムを確立し、実行し、維持、継続的改善していくために組織で働く又は組織のために働くすべての人に周知徹底と環境意識の高揚をはかります。

この環境方針は外部へ必要な情報を開示し、地域社会とのコミュニケーションに努めます。



ISO9001 初回登録日 2000年11月22日 適用規格 ISO9001:2015/JIS Q 9001:2015
更新日 2021年01月16日

ISO14001 初回登録日 2004年05月13日 適用規格 ISO14001:2015/JIS Q 14001:2015
更新日 2022年05月13日

PDCAサイクルの展開とQMS、EMSの融合で継続的改善へ

ISO9001とISO14001を融合して、商品企画から研究・開発・生産・販売・品質保証について一貫したマネジメントシステムで運用し、各部門が何をすべきかを明確にコミットメントして実行し、商品・サービスの品質向上による顧客満足向上と環境負荷の低減に寄与します。その運用にあたっては顧客満足の向上を図るためにPDCAのサイクルを回し、継続的な改善を図っております。



お客様との関わり

1. 新商品開発に関する取組み

2022年度新商品

- ・YK301QT
- ・YG851

2. 新商品開発・商品化審査規定施行基準

お客様が安心して製品を購入・使用できるように、各商品開発ステップに於いて、各関連部門は色々な管理項目をどのように達成していくか、役割を明確にして推進していきます。

当社は、生産担当部門として、Q・C・Tの実施項目・目標を明確にして展開をしました。



3. 製品の環境影響評価

当社はヤンマー規格（YIS）にもとづき、製品の環境影響評価を実施しております。

この環境影響評価は、①法規適合性、②地球温暖化防止、③周囲環境の改善、④リサイクル環境負荷物質の低減と省資源化、⑤情報開示 の5つのテーマについて評価を行い、その評価点が55点以上になるよう改善を実施します。

2022年度新商品の環境影響評価

商品名	YK301QT	YG851
点数	60	60

調達先との関わり

1. 購買方針

当社は購買の基本的な考え方を伝える場として、購買方針説明会を毎年実施しております。調達先とのコミュニケーションを図り、「公正・透明・適正な取引を通じ、より良い商品・サービスをお客様に提供し続ける」を推進しております。

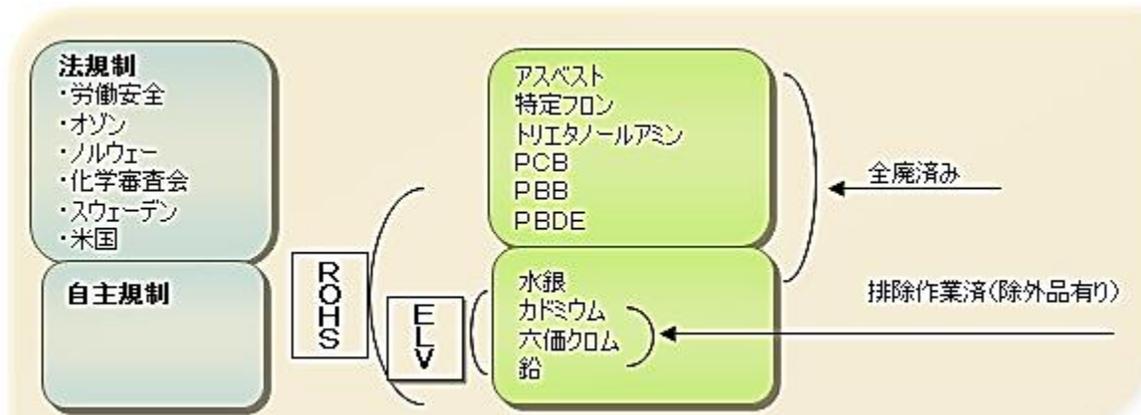
※2023年3月 購買方針説明会の実施を予定しておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を鑑み中止とさせていただくこととなりました。

2. 化学物質に関する情報提供を積極的に行っています。

「PRTR法(化学物質排出管理促進法)」では、環境汚染の恐れのある化学物質を、工場などがどれだけ安全に排出し、廃棄物として移動させたかを行政に届出するように定めています。当社ではこの対象物質の届出はもちろんのことホームページ上でも情報を開示しております。

PRTR法対象物質	2022年度 使用量	前年対比 (生産原単位・塗装面積含む)
キシレン	2,465kg	93.9%(90.1%)
エチルベンゼン	1,893kg	95.6%(91.8%)
トルエン	1,230kg	104.1%(99.9%)

当社はヤンマーグループ地球環境委員会の一員として、環境有害物質の全廃活動を推進しております。



従業員との関わり

当社は従業員が核となるステークホルダーであると位置づけ「社員一人ひとりが自らの仕事に厳しく、努力を惜まず、信頼と感謝のもと、『和』の精神を持って行動する」ために、社員の能力開発、高齢者再雇用の仕組み作りや社内外での様々なレクリエーション等の取組みを行い、従業員と会社の信頼関係の構築に努めております。また、5S活動を通じて、製品の品質向上、生産効率の向上及び、社員が安全で働きやすい環境を確保することに努めております。

※毎年年末に開催しています社員懇親会は、コロナウイルス感染拡大の影響を鑑み中止しました。

1. 2022年度の労働災害について ()は前年度

業務を休まなければならない重大災害	0件	(0件)
不休業災害	1件	(3件)

2. 防災訓練及び緊急事態時の対応訓練

震度6強の地震を想定した避難訓練を実施しました(2022年11月18日)

①~④の緊急事態指定4カ所の確認を各部門毎に実施しました(2022年10月21日)

- ①排水処理
- ②油水分離槽
- ③廃油置場
- ④塗装職場



3. 環境教育

- ☆ 新入社員の入社時、環境教育
- ☆ 各職場による環境教育
- ☆ 内部監査員のISO14001:2015勉強会

各職場ごとに星取表を使用して、当社を取り巻く環境の理解を深めレベルの向上を目指しています

社会貢献活動

1. 地域活動

私たちは、工場内外の水路清掃及び工場外の道路清掃を通じて環境に対する意識向上を図り、地域コミュニティと共に豊かな社会の実現を目指します。



2022年11月12日、近隣住民・従業員・家族 計35名参加のND農園収穫体験を実施しました

静岡県赤十字血液センターへの献血協力 (ニューデルタ工業敷地内で実施)

- ・2022年07月06日 400ml 10名
- ・2022年12月23日 400ml 4名



2. コミュニティー

私たちの企業活動において継続的な対話や情報開示の機会を設け、地域社会とのコミュニケーションを推進しております。その一環として当社の生産活動、環境保全に関する取組みを開示する場として工場見学を積極的に受入しております。

2022年度工場見学

※コロナウイルス感染防止対策を実施したうえで、一部実施しました

1. 2022.03 静岡県立伊豆総合高等学校 5名(内引率2名) 田方法人会主催
2. 2022.10 静岡県立三島南高等学校 8名(内引率2名) 田方法人会主催

環境保全活動

EMS監査

内部環境監査は、第1回内部品質環境監査(2022年8月)、第2回内部品質環境監査(2023年1月)、第13回環境サーベイランス審査(2023年2月7日-8日)を実施しました。これらの是正処置は全て完了しております。

遵法評価の結果

- 水質汚濁防止法 …… 工場排水のPH,BOD,SS,COD,ノルマルヘキサン,Fe,Cr,を毎月計量測定
芝浦セムテックによる測定結果は全ての項目が基準値内でした。
- フロン排出抑制法 …… 工場内や対象設備簡易点検 年4回 定期点検 年1回
簡易点検:EMS事務局 定期点検ヤンマーエネルギーシステム他により実施し、異常はありませんでした。
- 騒音規制法 …… 2022.9.14実施
芝浦セムテックによる測定結果は4カ所全て基準値内でした。
(一部自主基準値をオーバーしましたが対策実施済みです)
- 振動規制法 …… 2022.9.14実施
芝浦セムテックによる測定結果は4カ所全て基準値内でした。
- 廃棄物 …… マニフェストの管理/処分場の現地確認
現地確認により適正に処理されていることを確認しました。
産業廃棄物管理票交付等状況報告書
電子マニフェストにより静岡県東部福祉センターに提出、受理されました。
- PRTR法 …… 第一種指定化学物質の排出量及び移動量の届出書
2022.5.23 静岡県環境部 環境局 生活環境課に提出、受理されました。
- 浄化槽法 …… 11条検査
2022.5.25 静岡県生活科学検査センターによる検査を実施しました。
結果は5カ所全て適正でした。
清掃 年1回、保守点検 年4回 実施
- 消防法 …… 少量危険物管理、消防用設備点検 年2回
塗料庫点検表確認:EMS事務局
消防用設備点検:伊豆防災機器
適正に管理されています

遵法制の評価について

当社は、法規制に対する測定を定期的実施し、その測定値は厳密に管理されており法令違反による勧告・是正指導はありませんでした。この結果は、第三者による外部監査でも評価されております。

環境保全活動

内部・外部のコミュニケーション(苦情含む)

2022年3月21日～2023年3月20日までに環境情報連絡・対策依頼書の発行は2件で、全ての対応が完了しております。

※工場近隣住民へのヒアリング調査を実施しました。環境、その他の意見、苦情、提案はありませんでした。今後も定期的に調査を実施致します。

主な環境負荷 (エネルギー・水資源・廃棄物 等)

	2021年度実績	2022年度実績	前年比 使用量
電力	1,127,329KWh	986,432KWh	(87.5%)
都市ガス	174,207m ³	169,019m ³	(97.0%)
事務用紙	212,593枚	197,065枚	(92.7%)
市水	544m ³	482m ³	(88.6%)
井水	20,346m ³	21,051m ³	(103.5%)
廃棄物	247.6m ³	198.4m ³	(80.1%)
リサイクル率	97.1%	97.5%	

SDGs活動 (環境関連)



わたしたちは、持続可能な開発目標『SDGs』を支援しています

ヤンマーグループの環境ビジョンにおける当社の役割と活動

ヤンマーグループ地球環境憲章

環境基本理念 ヤンマーグループはグループとしての発展と地球環境保全との調和のとれた関係を構築することに努めることにより、社会の持続的発展に寄与します。

行動指針

1. 環境保全への取組みをグループ経営の最重要課題のひとつとして捉え、グループを挙げて環境経営に取り組む
2. 事業活動にあたり、事業所が立地する国、地域の法令、規則を遵守するのはもちろん、必要に応じ自主基準を設定して環境保全レベルの向上に努める
3. グループ地球環境委員会において環境対応方針を策定し、グループ内に周知の上、総合的に環境保全活動を推進する
4. 環境保全に関する情報を積極的に社内外に公開し、グループ会社、パートナーの理解と協力を求め、効率の良い環境保全活動を推進する
5. 下記の環境4分野につき、実効のある施策を計画的、継続的に推進する
 - ☆ 環境保全に寄与する技術の確立と環境負荷の小さい製品・サービスの提供
 - ☆ 事業活動の各段階での環境負荷の低減
 - ☆ 社外との連携、共生→地域社会への貢献、環境情報の公開等
 - ☆ 環境意識の向上→社内環境教育、ライフスタイルの改革等

YANMAR GREEN CHALLENGE 2050

循環する資源を元にした環境負荷フリー・GHGフリーの企業になる

Challenge 1

グリーンハウスガス
(GHG) 排出量ゼロの企
業活動を実現する

Challenge 2

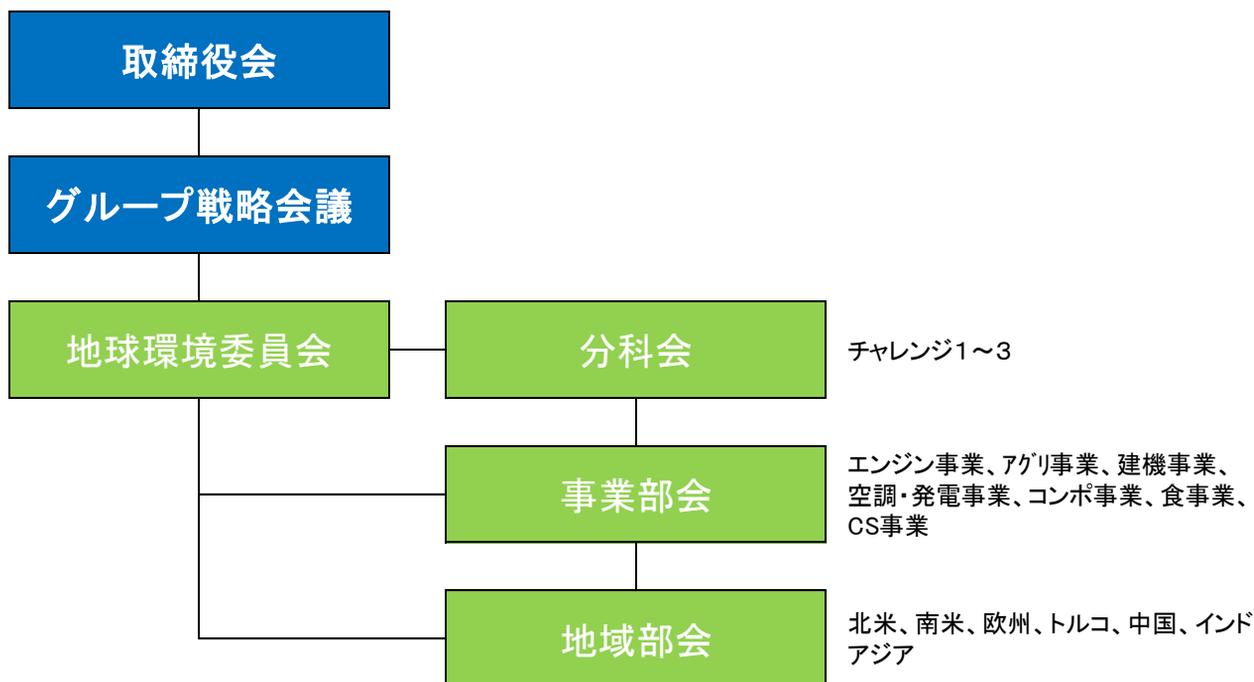
循環する資源を元にした
環境負荷フリーの企業活
動を実現する

Challenge 3

お客様のGHG排出ネガ
ティブ・資源循環化に貢
献する

“A SUSTAINABLE FUTURE”の実現に貢献する企業であり続けるため、ヤンマーグループは、「YANMAR GREEN CHALLENGE 2050」を制定しました。「循環する資源を元にした環境負荷フリー・GHGフリーの企業になる」ことを目指し、三つの課題に挑戦します。

ヤンマーグループ環境保全組織体制体系図



ヤンマーグループでは、2002年にグループ各社の事業本部長や事業会社社長ら経営トップによる「ヤンマーグループ地球環境委員会」を設置し、グループ全体で環境経営に取り組んでいます。

MS (マネジメントシステム) 管理責任者より

2022年度 弊社の企業活動は非常に変化の激しいものとなりました。社会情勢の変化、世界的な半導体不足、コロナ禍の影響により資材価格の上昇や部品の遅延、特にエンジン遅延の影響が大きく、急な生産計画の変更、さらには稼働日の変更等全社を挙げて対応し企業活動を継続する事ができました。このような変化の激しい企業活動ではありましたが環境における目的・目標においてはほぼ達成する事ができました。また、環境法規制においても遵守する事ができています。これは弊社において環境における意識が根付いているものと感じます。

2023年度 弊社における活動では脱炭素、SDGs等まだ至っていない事もありますが着実に環境と企業活動をリンクした取組を継続していきたいと思えます。また、労働安全衛生法の改正による化学物質の管理が強化されたことから、さらに「地球と人にやさしい企業」を目指し活動していきます。ご協力宜しくお願いします。



環境報告書のご意見

この報告書に関するご意見をお待ちしております。

提出先 : ニューデルタ工業株式会社 経営統括部 総務経理G

提出方法 : 下記のいずれかでご提出下さい。

郵送 411-0816 静岡県三島市梅名767

FAX 055-977-7608

電子メール soumu@newdelta.co.jp

様式 : 様式は自由です

問合せ : 経営統括部 総務経理G 電話:055-977-1727



ニューデルタ工業株式会社

New Delta Industrial Co.,LTD.

〒411-0816 静岡県三島市梅名767番地

TEL:055(977)1727代表

FAX:055(977)7608

E-mail:info@newdelta.co.jp

HP:http://www.newdelta.co.jp

767 Umena Mishima City. Shizuoka Pref. Japan

TEL:055(977)1727

FAX:055(977)7608

E-mail:info@newdelta.co.jp

HP:http://www.newdelta.co.jp